

令和2年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	AIDS文化フォーラムin横浜組織委員会
実施事業名	横浜、京都、陸前高田、佐賀、名古屋での「AIDS文化フォーラム」開催による普及啓発事業
団体代表者	組織委員長 佐竹 博
事業の目的	<p>全国に広がる「AIDS文化フォーラム」の各地の開催を効果的に実施するため、各地の開催組織との連携し、市民へのエイズ予防啓発を強化・推進する。</p> <p>目的:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「HIVの感染経路を問わず、HIV/AIDSのみならず社会を取り巻く状況を多様に文化の視点で考えていく」ことを特徴として、さまざまな社会課題を反映したAIDS文化フォーラムを実現する。 2.HIV陽性者を含むHIV/AIDSに関わる当事者が安心して参加できる、語ることのできる居場所をフォーラムで実現する。また、来場者が様々な切り口で当事者に出会うことで、他人ごとだったことがリアルに変わり、自分ごとになっていくという機会を提供する。 3.HIV/AIDSに関連する活動に関わる人々をつなぎ、団体や担い手のエンパワメント、新規活動者輩出に貢献する。 4.各地域の社会課題に沿った独自の「AIDS文化フォーラム」開催、ZOOMによるネット参加、LIVE中継、SNS等オンラインの活用によりエイズ普及啓発の機会と啓発対象者の裾野を広げる。
事業の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症拡大に伴う緊急事態宣言などで、会場使用や移動の制限がある中、オンラインを駆使して、横浜と京都の会場でAIDS文化フォーラムを開催することができた。 ・横浜と京都の会場において、佐賀、陸前高田、名古屋を加えた5地域をオンラインでつなぐ連携企画を実施した。(2会場で4876人の視聴と、広域連携会議における5会場20人の参加) ・ネットによるLIVE中継・配信を行うことで、今回開催を見合わせた佐賀、陸前高田、名古屋からの参加者及びその他の地域からの参加者を得ることができた。 ・地域主催者によるネットワークを図るための連携会議も、最終的には、オンラインではあったが、5地域からの参加を得て開催することができた。 ・新型コロナ感染症拡大により、HIV/AIDSに関係する団体が機関が、活動や連携方法を模索する中、「AIDS文化フォーラム」を開催することで、支援や活動を止めることなく、新しい方法でつながることに、チャレンジする機会提供することができ、AIDS文化フォーラムの開催目的である「一人ひとりが共に生き、連帯し、未来への希望をつなぐために力をつける」ことができた。 ・新たな開催候補地域については、当初予定していた地域での計画が見送りとなり、アプローチができなかった。
対象となった人数 (実質)	<p>[横浜会場]参加者4076人(視聴)</p> <p>[京都会場]参加者800人(視聴)</p> <p>[広域連携会議]参加者20人</p>
	<p>1. 全国5会場で入場自由・無料の「AIDS文化フォーラム」開催</p> <p>(1) 第6回AIDS文化フォーラムin佐賀 (中止) 日程予定日:2020年6月13日(土) 会場:佐賀市内 主催:AIDS文化フォーラムin佐賀運営委員会 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止</p>

<p>事業実績</p>	<p>具体的な活動内容</p>	<p>(2) 第8回AIDS文化フォーラムin陸前高田 (中止) 日程:2020年6月28日(日)、7月12日(日)、8月2日(日)の中で調整 会場:陸前高田市内(調整) 主催:AIDS文化フォーラムin陸前高田実行委員会 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止</p> <p>(3) 第27回AIDS文化フォーラムin横浜 (実施) 日程:2020年8月7日(金)、8日(土)、9日(日) 会場:ZOOM、一部You Tube利用視聴、運営はかながわ県民センター(横浜市内) 内容:ZOOMオンライン講座、オンライン活動紹介 主催:AIDS文化フォーラムin横浜組織委員会 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により規模を変更しオンライン開催、 全国連携企画を実施</p> <p>(4) 第4回AIDS文化フォーラムin名古屋 (中止) 日程:2020年9月5日(日) 会場:名古屋市内(調整) 主催:AIDS文化フォーラムinNAGOYA実行組織委員会 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止</p> <p>(5) 第10回AIDS文化フォーラムin京都 (実施) 日程:2020年10月10日(土) 会場:ZOOM、龍谷大学顕真館 内容:ZOOMオンライン講座 主催:AIDS文化フォーラムin京都運営委員会 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により規模を変更しオンライン開催、 全国連携企画を実施</p> <p>2. ネット配信 ZOOM(一部You Tubeを活用し、広く配信) (1) 第27回AIDS文化フォーラムin横浜、第10回AIDS文化フォーラムin京都 とともに、 当日はオンラインによるライブ配信。及び期間限定のアーカイブ配信等を実施した。 実施プログラム(講座)は減ったが、1講座に対する視聴者が増え、また視聴者の 居住地も全国に広がった。</p> <p>3. 各地の連携 (1) 年間を通じ、HIV/AIDSに関する情報や開催地の準備状況などを公開し、相互に 運営ノウハウを提供しあうなど、企画運営協力を行った。特に新型コロナウイルス感 染拡大に伴う運営方法変更において、オンラインの開催方法について各地で情報 共有し、企画運営に生かすことができた。</p> <p>(2) 広域連携会議(横浜、京都、陸前高田、佐賀、名古屋の計5会場より参加) 開催日:2021年3月7日(日)14:00~16:00 会場:オンライン(ZOOMミーティング)、横浜中央YMCA(ハイブリッド形式で実施)</p> <p>4. AIDS文化フォーラムを伝える ・AIDS文化フォーラムin京都 10周年記念誌、AIDS文化フォーラムin横浜報告書の各 地域で報告書を作成し、「広がるAIDS文化フォーラム」について報告をし、各地域の AIDS文化フォーラムで活用し、配布を行っている。</p>
<p>活動の様子 ※イベントまたは成果物などが分かる写真や説明書き、また団体ホームページ等のURLを掲載してください。</p> <p>AIDS文化フォーラムin 横浜 https://abf-yokohama.org AIDS文化フォーラムin 京都 http://hiv-kyoto.com</p> <p>別添 2020(第27回)AIDS文化フォーラムin横浜報告書(関連ページ P2, 5, 20, 23, 26) AIDS文化フォーラムin京都 10周年 記念誌(関連ページP4~, 12, 22~23, 30~32, 45~47, 50)</p>		